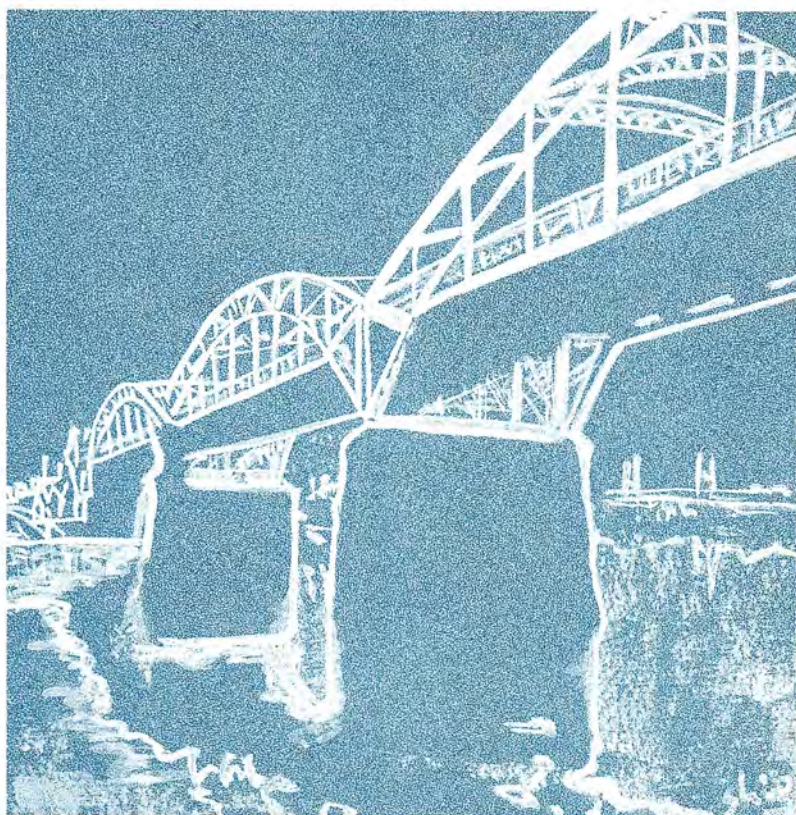


市民がつくる 市民が学ぶ 市民が拓く——生涯学習誌

# Stage up

● 紙面刷新 9月号 隔月発行 無料



連載 いまを話す 高橋 清市長  
「子が伸びぬのは教師の責任」

(財)川崎市生涯学習振興事業団ニュース  
(通巻 No.4)

■心の揺れ……演劇・文学からも

川崎市生涯学習振興事業団初の市民企画講座「心のセミナー」がすてきな人生・隣人・老後を得るために「多摩川」と語る流域の自然、民俗、文学に接して」の二講座が十月から始まる。今春、市民が求める多様な学習希望を実現するため、ボランティアの市民講座企画スタッフを募

10月から 初の市民企画講座

「多摩川」「心」2テーマで

■川の歴史から21世紀を探る

「心のセミナー」は、特に大都市で強まるストレスや核家族化・老人世帯の孤立感を克服するための心の在り方を学ぶだけではない。演劇や文学の世界に出てくる人々の微妙な心の揺れ、しぐさを題材に地域社会、会社社会でどの様に素晴らしい人間関係を作るかを考えるユニークな講座になる。

また、同セミナーは尊厳死をテーマに作家、医師、弁護士などでパネルディスカッションをする。

一方、「多摩川を語る」は講義、シンポジウム、見学の「聴く、話す、行動する」講座。この数年、ウオーターフロント計画など水辺と生活に

り、二十人を決めた。企画スタッフは、二講座のメインテーマを決めた後、「心グループ」（世話人・三角はる美さん）と「多摩川グループ」（世話人・酒井博さん）に分かれ、週一、二回会議を開き、講座の具体的内容や講師について検討を続けてきた。

ついでに関心が高まっている。多摩川は細長い地形をした川崎全域で親しめる水辺で、古くから「母なる川」と言われ続けてきた。

同講座は、多摩川の生い立ちから現在までを探り、多摩川が庶民の生活と川崎の発展にどう関わってきたかを学び、21世紀の清流・多摩川、を展望する。

受講料は無料（多摩川の講座は傷害保険料など500円が必要）。定員は各60人。申し込みは17日から044-9552-5000の当事業団に電話で。先着順で定員になり次第、締め切る。

ONLINE たびくじ

表紙絵「丸子橋」…………… 田島志織 ①

初の市民企画講座10月に開講

「多摩川」「心」テーマに…………… ②

情熱なき教師は…………… 高橋 清市長 ④

教壇から去れ！ 「いまを話す」…………… ④

文化学習情報 講座 教室 ステージ…………… ⑧

本誌、100カ所で無料配布（協力店）…………… ⑩

はりきつてます グループ紹介…………… ⑪

民間託老所「コスモスの家」…………… ⑪

心のにこる生涯の一冊 宮前区・青木 悦子さん…………… ⑫

川崎区・市川 緋佐磨さん…………… ⑫

中原で活発に生涯学習市民討議…………… ⑬

「身近な施設増と学校開放を」…………… ⑬

中東の民族・宗教問題…………… 奈良本・法大助教 ⑭

ミニニュース 編集後記…………… ⑮



ギボウシ（ゆり科）

日本各地の山野に約30種がある。白、淡紫、紫など濃淡に微妙なちがいのある花が下から咲き上がってゆく。株分けでふやす。

# 市民企画講座のテーマと日程

## 多摩川と語る

### 流域の自然、民俗、文学に接して

日	時	テ	マ	講	師
10月7日	13時半	川は	生きている(講義)	小川	一郎・立正大名誉教授
14日	同	古代の	多摩川(講義)	松島	義章・県立博物館学芸員
20日	10時～	水辺の	生きもの(見学)	斎藤	博・和光高校教諭
28日	13時半	岡本か	の子の世界(講義)	古屋	照子・岡本かの子研究者
11月12日	同	多摩川	水流紀行(講義)	大内	尚樹・登山家
18日	同	治水の	利水の歴史(講義)	小松	修・日大講師
26日	10時	水と文化	の民俗史(講義、見学)	北村	敏・太田区立郷土博物館員
12月2日	13時半	多摩川	を愛する人達(シンポ)	多摩川	の自然を守る会ほか
9日	同	21世紀	の清流をめざし(講義)	篠崎	毅・建設省京浜工事事務所

会場は見学、11月26日を除き当事業団。10月20日は青梅市。11月26日は市民ミュージアム、等々力環境センター。テーマ、講師の一部が変更する場合があります。

## 心のセミナー

### すてきな人生、隣人、老後を得るために

日	時	テ	マ	講	師
10月12日	14時	人間関係	と心の変化	山崎	哲・劇団「転位21」主宰
19日	同	「言葉と行為」	～漱石の作品から	小森	陽一・成城大助教授
26日	同	自己開放	の素晴らしさ	西居	淳子・成城学園短大教授
11月5日	同	ストレス	と上手に付き合う	穂積	登・精神科医
16日	13時	尊厳死	を考える(公開討論会) ※会場との質疑応答があります	小林	久三・作家、井上武夫・医師、松根敦子・尊厳死協会理事、根本孔衛・弁護士
21日	14時	老いに向かう	心遣い～充実した人生を送るために	金森	トシエ・元県立かながわ女性センター館長

いずれも会場は当事業団。テーマ、講師の一部が変更する場合があります。

# 情熱なき教師は 教壇から去れ!!

「いまを話す」は、川崎市内の各界、各分野で活躍されている人にインタビュー。個人の立場で、人生の軌跡や「いま、なにをすべきか」をざっくばらんに話して頂きます。読者のみなさんが多様な生き方、考え方に接し、豊かな生涯の糧になれば幸いです。最初のゲストは、高橋清・川崎市長。教育の荒廃が社会問題になって久しくなっています。高橋さんは体験に基づき、教師の使命や家庭における父母の役割、子供のしつけについて率直に話されました。インタビューは元TVKアナウンサーで、学習グループに所属の多摩区三田在住の主婦、太田公子さん。

高橋さんは、お写真とこうしてお会いした感じとでは印象が随分違いますね。

高橋さん みなさんにそう言われまして：(苦笑い)。写真の人相は良くない。会うとお世辞も言わず無愛想だ、でしょう。

いえ、そんな…。お写真よりはるかに実物が：(あわてる)高橋さん 無理をなさらないでいいですよ。

ところで、高橋さんは戦前、戦後を通して二十三年間、小学教師をされ、その後、市教委の役職や助役を経て一昨春秋、市長になられましたね。

高橋さん はい。よくお調べです

## 『子供と取っ組み合う授業』

## 研究』に夢中だった

ね。インタビューは多摩区の主婦と伺ったのですが、テレビ局の元アナウンサーなんです。あまり切り込まないで下さいよ。(背筋を伸ばす)

市長になられて不便になったことはございますか。

高橋さん 全部、不便ですよ。しかし、自分で手を上げた(立候補)限りは責任がありますからね。不便、不便と言ってもらえませんが(真剣な面持ち)。

(笑いながら)やはり、ご自分の時間が少なく、窮屈でしょうね。

高橋さん いや、そういう事は無いですね。役所で部長をやり、局長になり、助役と段階的に役所の仕事をやってきました。前市長(伊藤三郎・名誉市民)さんが病気になる前は、市長代行みたいな仕事をしてましたので。

覚悟はできていたというわけですね。

高橋さん そんな、おかげさではありませんが。

教職に就かれたのは、何か動機があったのでしょうか。

高橋さん (目を細め)子供が大好き

きてしてね。それが「役場」に移って困った事があるんです。

はい?

高橋さん 学校には夏休みなどの長期の休暇がありますね。

はい。

高橋さん その頃は、教え子や自分の子供と一緒に旅行するとか、教師仲間と研究をやるとか、計画が自由に立てられたのですよ。

はい。

高橋さん ところが、役所には長期休暇がないでしょ。何か一つテーマを決めて、それに没頭するのが難しいのです。やっぱり先生は良かったと、つくづく思っていますね。

先生をしていた頃は、良いことばかりだったようです。

高橋さん 先生は好きでなりまして、給料の安いのが玉に傷でしたが充実してましたね。今の教員は部長級の給料ですが、僕らの時は悪かったです。運が悪かった(笑い)。

本当に昔の先生の待遇は良くなかったようですね。

高橋さん でも「子供が好きでたまらない」「先生になるのが夢だった」という仲間が集まっていた。裏返して言えば、給料が欲しいために教師になったのでなく、自分の天職、生涯の仕事だと自覚の強い集団でした。

川崎市長 高橋 清さん 《上》

# いまを話す

## Vol. 1

インタビューアー  
フリーアナ 太田公子さん



〇……自らの体験に基づき教師の在り方を語る高橋清市長(右)。  
左はインタビュアーの太田公子さん。

ほー、そうでしたか。

高橋さん 学校全体に活気がありまして、夜遅くまで研究会を開くなど活発でしたね。「子供に分かる授業」「子供と取っ組み合いの授業」をどうやるかに夢中で「倒れるまで研究するんだ」とお互いが意気込み、刺激し合っていました。そういう時代が長く続きました。

——たいへん感動的なお話ですね。今の先生はサラリーマン化しているとの批判がありますが、いかがですか。

高橋さん 先生を悪く言うのと叱られますから言いません。(間を置いて)言いませんが、僕らの時代はそういう情熱的な先生が多かったということです。

——やはり、お立ち場があり批判はできないですか(やや厳しく)。

高橋さん……。当時、僕らが読んでた本に国分一太郎さんの「君、人の子の師であらば」があります。「君が本当に人の子の先生であるならば、まず、自分を磨きなさい」この教師に自覚を促しているんですね。

精神論なのです。

高橋さん いや、そうじゃないんです。「子供が授業の内容を覚えないのは子供が悪いのではなく、自分(教師)が未熟なのだ」と反省しなさい」「教材を良く研究し、子供が教科を

### 〇…… 高橋 清さん ……〇

たかはし・きよし=宮城県出身、66歳。宮城師範学校本科卒。昭和19年から42年、国民学校・小学校教諭。同年、川崎市立古市場小教頭。43年から川崎市教委指導主事、同指導課長、教職員部長、同市職員局長、同助役を経て平成元年11月、川崎市市長。尊敬する人は夏目漱石。趣味は読書、旅行。家族は妻玲子さん、長男(東大教授)、次男(日銀勤務)は独立。自宅は同市幸区小倉1134。

良く理解できるようにすることが教師の仕事・修行なんだ」「それをやれない人は、教師を辞めろ」そういう事が真剣に論じられた時代です。そういう意味で本当に学校、教師の頃は楽しかった(身振りを交え)。

——高橋さんが、言おうとしている事は十分、分かります。先生にも一度戻りたいような雰囲気ですね。(感激のためか、ひと呼吸おき) 高橋さん 若き日を振り返っただけですよ(照れる)。

——川崎市総合教育センターの調べによりますと、不登校児童・生徒が市内で年間延べ五千人もいるそうですね。子供達はどうして学校に行きたがらないのでしょうか。

高橋さん 僕らが仲間と教育論争

『学校嫌いの子供増 なぜ?』 太田さん

『児童の目が輝く授業は  
努力のあかし』 高橋さん



した頃は「文句があるなら俺の授業を見に来い」「俺が教えている児童・生徒の姿を見てくれ」との自負がありました。教師の苦労は、子供が生きてきた目をして授業中過ごせるかに尽きます。一時間、一時間の授業に教師の努力が凝縮しているのです。教師集団から個々の先生が尊敬される基準は、子供が授業を受けている態度や理解度なんですね。理屈が上手でも、信頼なんか、されませんでしたね。(熱っぽく)

——すごい連帯感ですね。

高橋さん 「授業名人」というのが居ましてね。その人の授業を見学に行ったり、呼んだりしてその指導

法を学ぶ。「俺もああいう授業をやるぞ」と若い教員みんなだも思ったものです(張りのある声で)。例えば作文ですが、書く習慣が身につかなければ絶対伸びない。基本は教師が教えますが、多く書くかどうかは子供の努力。日記をどんどん書けるようにするために、子供と話す場を多く作り、話題を増やすよう努力もしましたね。

——燃える教師集団の時期だったのですね(しんみりと)。そういう先生、今は少ないようですね。

高橋さん さあ…。僕が教師をしていた頃と現在では地域社会、教育環境が大きく変容していますから。

父母、児童・生徒の教育、教師への考えも複雑に変化しています。今の教師が僕の頃と同一に対処はできないでしょう。ただ、集団の力、集団の知恵を信頼する、生かす事は、どんな時代でも大事なんですね。

——素晴らしいですね。

高橋さん 僕は川崎で国語の研究會に所属していて、川崎が全国学力テストで一番になった年があります。その後、トップクラスの成績が続きましたね。

——そんな事があつたんですか。

高橋さん 真面目な教師が集まって真剣に研究すると、子供は面白いようにぐんぐん伸びるんです。これは間違いないですね。子供が駄目な場合は、その子供が悪いのではなく先生が悪いのです。子供はみんな良い素質を持っています。これは建て前でなく、厳然たる事実だと僕は思いますね。

——逆に先生の側からは「父母が学校に文句を言うのでやりにくい」との話を聞きますが…。

高橋さん 親は、子供が可愛いのでかばう。先生に注文も出しますよ。だからやりにくい?先生が親に負けない識見、教育理論を持たなければ失格ですよ。

——それはそうですけど…。

高橋さん 親は子供の性格とか、

ほんねインタビュー

家庭での態度は良く知っています。勉強という点から見ると、小学校の場合、担任が授業を受け持っている時間の方が長いのです。集団生活の中で、自分の子供がどうしているか、親は分からないのです。学校教育は社会教育の一環ですから、父母と担任が謙虚に話し合うことが大切です。家庭における児童の様子は、先生が父母から聞く。学校での様子は父母が先生から聞く。その子供の正確な姿を理解し合えば長所を伸ばし、短所を少なくできて、子供の社会性を養う事ができるのです。

—— 父母と先生のコミュニケーションが大事ですね。

高橋さん ええ。子供は将来、大人になり社会に出て、集団生活を送るのです。家庭の中だけの生活なんて有り得ないでしょう。だから、集団の中で心身を鍛える必要があるのです。集団生活の中で、子供の才能をどう伸ばすか。これは教師に課せられた大きな仕事ですよ。

(題字も高橋さん)

取材・植竹麻千子

構成、文責・田中

(次号につづく)



○…… 太田 公子さん ……○

おおた・きみこ=東京都出身、川崎市で育つ。福島中央テレビ、TVKテレビのアナウンサーを経てフリー。長洲神奈川県知事、飛鳥田元横浜市長のインタビュー。TBSテレビ「3時にあいましよう」などのレポーター、アシスタント。前市立三田小PTA副会長。家族は夫と小学生の娘2人。住所は川崎市多摩区三田4の3の1の6の3の202。



ご意見を  
お寄せ下さい

❖ ❖ ❖

「いまを話す」についてのご感想、ご意見をお寄せ下さい。第一回目をお読みになつた感想や今後どのような人をゲストに迎え、どんな事を聴きたいかなどを葉書でお願いします。

宛先は川崎市麻生区万福寺1の2の2、新百合21ビル、財団法人川崎市生涯学習振興事業団編集チーム。

当事業団は小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩1分です。

多目的ホール、研修室、会議室のご利用は

☎044-952-5000へお願いします

当事業団は、12月29日～翌年1月3日を除き、無休で開館しています。多目的ホール(504席)研修室(24~30席)会議室(20席)のご予約・お申し込みは、午前9時から午後5時まで(土曜日の午後と日曜日を除く)です。

学習・文化情報

魅力あるイベントがある

学習・文化情報

講座・講演

**社会保険労務士資格試験  
準備セミナー**

◆教育文化会館他

10月26日(平成4年5月23日の毎週土曜日13時半)16時半。全27回。対象は市内在住・在勤者。定員60人。受講料5万円、教材費2万1千円。主催は川崎市生涯学習振興事業団。申し込みは9月17日(土曜の午後)と日曜を除く)に044-952-5000の同事業団。会場はJR川崎駅徒歩15分、バスの便あり。

**子育てセミナー  
「子育て、親育ち」**

◆中原市民会館他

9月26日(12月5日の木曜日)10時12時。全10回。対象は3歳児を持つ親と子、25組。受講料無料。教材費自己負担。申し込みは9月19日午前10時、同会館(武蔵小杉駅徒歩5分)で。

問い合わせは044-722-7171の同会館。

やきものの魅力を学ぶ

◆ヨネッティー王禅寺

歴史と伝統ある東洋のやきものについての講義と映像。10月12日(11月9日の毎週土曜日)13時半(15時半)全5回。定員40名。受講料2千5百円。申込みは9月7日14時までに同館へ入室。同館は王禅寺公園か餅坂バス駅徒歩15分。詳しくは044-951-3636(内)13。※他に中国語、フランス刺繍、レザークラフト、籐工芸の講座あり。

ニューメディア91

◆県立川崎図書館

10月16日(11月20日の毎週水曜(2回目は火))13時半(16時半)。ニューメディアが今後どのように発展していくか、それに伴い社会生活はどのように変化するのか、図書館との関わりについても考える。講師は井上武志さん他。申込みは9月30日まで。定員60名。受講料3千900円。申込みは往復ハガキに住所・氏名・年齢・職業・電話番号・託児希望者はその旨を明記して、〒210川崎区富士見2-1-4 県立川崎図書館・調査課・県民アカデミー係宛(☎

成人学校

◆菅生分館

▽木版画入門は9月20日(11月22日の毎週金曜午後)。▽風刺漫画にみる世相と時代背景は9月26日(11月28日の毎週木曜午前)。いずれも市内在住、在勤の15才以上の方。定員35名。受講料3千円。申込みは9月12日10時5分前までに同分館へ入室、抽選。同館は蔵敷バス駅徒歩1分。詳しくは044-977-4781。

成人学校

◆麻生市民館

▽布でつくる絵本は9月18日(11月27日の毎週水曜)10時12時。定員30名。教材費6千5百円。▽シャンソン・季節を歌うは9月18日(11月27日の毎週水曜)10時12時。定員30名。教材費5百円。▽神奈川の歴史・文化探訪(神奈川の仏像50)は9月20日(11月22日の毎週金曜)10時12時。定員50名。教材費・バス見学会費7千円。▽ゆたかな老いをデザインするは9月27日(12月13日の毎週金曜)14時16時

成人学校

◆岡上分館

▽身近な植物を調べるは10月2日(11月27日の毎週水曜)10時12時。定員30名。▽陶芸入門は9月27日(11月29日の毎週金曜)13時半(15時半)。定員30名。教材費3千円。いずれも市内在住の15才以上の方。受講料3千円。申込みは9月11日10時までに同館へ入室。同館は鶴川駅より徒歩10分。詳しくは044-988-0268。

情報活用能力養育講座

◆麻生市民館

9月21、28日は13時半(17時)。9月22、29日は9時半(17時)。9月25日は希望者による見学会で13時16時。定員30名。受講料無料。申込みは9月14日14時。同館は新百合ヶ丘駅より徒歩2分。詳しくは044-951-1300。



# ステージ

## ■かわさき室内合奏団コンサート

◆川崎市教育文化会館大ホール  
10月12日(土)18時45分開演。教文自主文化事業実行委員会・川崎市教委主催。岩の上の羊飼(シューベルト)、2台のピアノのための組曲(ラフマニノフ)他6曲。出演は弘中孝さん他。9月1日より市内各プレイガイド・各市民館・教育文化会館にて前売。大人千五百円、高校生以下五百円。同館は川崎駅より徒歩15分バスの便有り。問い合わせは ☎044-233-6361。



## ■モーツァルト200年記念公演

### ◆洗足学園

▽コンサートアリアとモテットは10月5日(土)15時開演。▽モーツァルトくは10月26日(土)15時開演。▽「交響曲40番」「レクイエム」は11月22日(金)18時半開演。いずれも入場料3千円。▽モーツァルト記念前田賞コンサート・受賞者によるコンサートは12月7日(土)15時開演。入場料5百円。▽コンチエルト名曲選は12月13日(金)18時半開演。入場料3千円。▽オペラ「ドンジョヴァンニ」は12月18日(木)、19日(木)いずれも18時半開演。入場料5千円。会場は同学園前田ホールで。同学園は溝ノ口駅より徒歩15分。入場券は2ヵ月前から洗足学園大学演奏部にて発売。☎044-877-3211(内)285

# 催し

## ■21世紀の長寿社会をどう生きるか

### ◆麻生市民会館

9月3日(火)13時〜16時半。「はつらつ生きがい術」と題し、日本老年社会科学会評議員・吉沢勲さんが講演。映画は小津安二郎監督「父ありき」。入場無料。同館は新百合ヶ丘駅より徒歩2分。詳しくは高齢社会福祉総合センター ☎044-976-90

02。

## ■映画「安心して老いるために」

### ◆麻生市民館

9月11日(水)10時〜12時半と18時半〜21時。入場料千二百円。予約制。同館は新百合ヶ丘駅より徒歩2分。詳しくは生活クラブ生協高津センター ☎044-854-3711。

# 作品募集

## ■市美術展

### ◆教育文化会館

川崎市教委主催。応募資格は、市内在住、在勤、在学か市内を活動の場とする15歳以上の方。応募期間は10月11〜13日。作品は日本画▽洋画(油絵、水彩画、版画など)▽彫刻・立体造形▽工芸▽書道▽写真。日本画、洋画は100号以内の額装で、油絵のガラス付額装は不可。彫刻・立体造形は1m×1m×2m、1600kg以内。書道は仕立上り182cm×61cm以内か91cm×91cm以内で、横ものは仕立上り80cmを限度。額装・裱装・軸・巻物。飯巻は不可。工芸は制限なし。写真は木製パネル張り、最大限55cm×65cm(パネルサイズ)。組写真は不可。応募作品は過去1年以内に制作した未発表のもの。1人2点まで。応募作品の裏に貼付表を

# 教室

## ■こども自然教室

### ◆青少年科学館

▽地層観察〜活断層と火山層は9月8日(日)10時半〜15時、秦野市で。対象は小学4〜成人。定員20名。受付中。▽神奈川の鳥〜干潟の鳥は10月6日(日)10〜13時、多摩川・大師橋下流で。集合は10時に大師線小島新田駅。対象は小学4〜成人。定員20名。9月16日より受付。▽草花遊びは10月27日(日)10時半〜14時、同館で。対象は小学3〜成人。定員15名。9月27日より受付。▽市民天体観望会は9月7日(土)19〜21時。9月28日(土)18〜20時。10月12日(土)17時半〜19時半、10月19日(土)同の4回、同館で。申込不要。雨、曇りの場合中止。小学生以下は保護者同伴。同館は向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。詳しくは ☎044-922-4731。

# 会員募集

●モーツアルティアード(幸区鹿島田1078、榎本梯次郎代表)◆モーツアルトのすべてを楽しみ勉強するつどいです。先生の講義や大型テレビによるレーザーディスク、ビデオ鑑賞をします。毎月第3水曜18時半〜20時半。多摩市民館音楽室で。半年会費5千円。連絡先は☎044-933-5244の豊川八重子宅。

●多摩スペイン語研究会(多摩区南生田2-13-14、宮本慶一代表)

## 本誌は100ヶ所で無料配布

### 新たに民間の協力を得て

「Stage Up」を広く市民の皆様にご愛読願うため、9月号から新たに小売店や金融機関、鉄道に同誌を置かせて頂きました。ご協力に深く感謝致します。奇数月の1日が発行日です。ご利用ください。公共機関は今まで通りです。

●小売店 ヌマヤ川崎店▽イトーヨーカドー溝口店▽さいか屋川崎店  
 ●金融機関 川崎信用金庫本店・川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田出張所・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所・鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・新城支店・住吉支店・中原支店・武蔵小杉支店・新九子出張所・平間支店・宮内支店・向河

◆毎週金曜18時半〜20時半、多摩市民館でスペイン語の会話、文法の学習をしています。コロンビア生れ、ベネズエラ籍の講師です。スペイン料理やおしゃべりの会も。連絡先は☎044-954-4197の同代表宅に夜間お願いします。

●川崎歴史歩こう会(川崎区京町2-24-6-1412、青木康雄代表)  
 ◆一緒に楽しく歴史散歩の仲間に加わりませんか。川崎市とその周辺の遺産を尋ね、学習しています。毎月1回火曜。会費月額3百円。連絡先は☎044-344-2977の

原支店・梶ヶ谷支店・子母口支店・高津支店・二子新地出張所・野川支店・有馬支店・向ヶ丘支店・稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸支店・柿生支店・百合丘支店▽住友銀行川崎支店・宮崎台支店・新百合ヶ丘支店▽横浜銀行新城支店・川崎北部市場支店・柿生支店・百合丘支店・新百合ヶ丘支店▽太陽神戸三井銀行溝ノ口支店・柿生支店

●鉄道 JR川崎駅▽JR登戸駅  
 ●公共施設 教育文化会館▽情報コーナー▽幸市民館▽高津市民館▽中原市民館▽宮前市民館▽多摩市民館▽麻生市民館▽菅生分館▽岡上分

田辺富夫宅。

●タップダンスゆうき(麻生区下麻生921-1-38-504、角川(かくかわ)えり子代表)◆踊る喜びを味わいながら、個性を引き出す自己表現の場です。体力維持、敏捷性のアップ、減量にも効果的。毎週月曜10時、ヨネッティ王禅寺リクリエーションルームで。連絡先は☎044-989-1080の同代表宅へ金曜20時〜21時お願いします。

●吟詠研究会(中原区今井西町187、大堀健蔵代表)◆詩吟の知識と技能が向上します。毎月第2・4金

館▽県立川崎図書館▽幸図書館▽高津図書館▽中原図書館▽宮前図書館▽多摩図書館▽麻生図書館▽市民ミュージアム▽日本民家園▽青少年科学館▽市立体育館▽石川記念武道館▽幸スポーツセンター▽麻生スポーツセンター▽青少年の家▽青少年創作センター▽青少年センター▽市役所▽川崎区役所▽幸区役所▽中原区役所▽高津区役所▽宮前区役所▽多摩区役所▽麻生区役所▽福祉パルあさお▽労働会館▽エポックなかはら▽中小企業・婦人会館▽総合自治会館▽市民プラザ▽労働資料室▽消費生活センター▽ヨネッティ堤根▽ヨネッティ王禅寺▽産業振興会館▽フルーツパーク▽緑化センター▽県立勤労女性会館

(この他、老人いこいの家に若干部数置いてあります。)

曜18時半〜20時半。中原市民館で。連絡先は☎044-722-0843の同代表宅に夜間土・日をお願いします。

●麻生きのこ会(稲城市平尾1-19-13サンパーク平尾7-102、石島文雄代表)◆ボケ防止は自然のグルメで。お金を使うより汗で健康をカバーしたい方はどうぞ。勉強会は毎月第1木曜19時、麻生市民館で。観察会は毎月1回日曜。年会費2千円。連絡先は☎0423-3115193の同代表宅へ。

●川崎市中原中国語研究会(中原区小杉御殿町2-47-7-5-201、福沢清和代表)◆中国語の会話や読書を学んでいます。中国人教師を囲んだ小人数のクラスです。毎週火曜、中原市民館で。連絡先は☎044-733-7306の同代表宅に夜間のみ22時までお願いします。

●練功十八法の会(川崎区川中島1-11-6、三田村照治郎代表)◆ヨガや大極拳を折り込んだ20数分の健康体操です。木曜(第4除く)13時〜15時半。川崎区市体育館で。連絡先は☎044-266-1738の同代表宅に夜間お願いします。

●川崎市フォトクラブ(中原区下沼部1711、大場弘代表)◆写真を楽しむ会で川崎市の周辺を撮影します。第1・3土曜14時〜17時、中原市民館3階会議室で。会費月2百円。連絡先は☎044-411-0453の同代表宅に18時以降にお願いします。



# ほりまっこのまほ

## ほりまっこのまほ

紹介

### 民間託老所「コスモスの家」

## 独居老人と主婦ら交流

## 寝たきりゼロめざし

このページは、川崎市内のさまざまな市民グループの活動を紹介し、紙上交流をめざします。

第一回は、独り暮らしのお年寄りや老夫婦が、生きいきとした生活を持續することを願って、民間「託老所」を開いている「コスモスの家」

「年老いて 耳もとほ（お）くなりながら 笑顔でつどう コスモスの家」。

この詩は多摩区三田五の二「コスモスの家」渡辺ひろみ代表（57）を訪れる最年長の宮崎ユキさん（85）が詠んだ。同家で過ごす楽しい心情が伝わる。

「コスモスの家」には毎週水、金曜日の朝、平均年齢七十七歳のお年寄り約十人が集まる。歌を歌ったり、ちぎり絵、手芸などに精魂を傾ける。先生は近所の主婦ら。六畳の和室は、仲間と学ぶ喜びで充満。協同作業を通じて、心と心の触れ合いが育つ。

台所では、昼ご飯作りに数人の主婦が働く。「一年間、同じ献立を作らない」がお年寄りの人気の秘訣。グルメリズムの陰で、老人の健康と趣向を考えた外食は少ない。食後、なごやかな話し合いが続く。

独り暮らしだと、テレビを見る生活になりがち。仲間と過ごすことで「生涯青春」のムードになる

「コスモスの家」発足のきっかけは、数年前にさかのぼる。近くの市

立三田病院が赤字続きで、伊藤三郎前市長は「民間に売却・廃止」を打ち出した。健康に不安を持つ老人の心は激しく揺れた。

反対集会で、独り暮らしの老婦人が「頼り合える何かがほしい」と、つぶやいた。「本当にそうね」と相づちの声。同病院はお年寄りの心の支えでもあった。

渡辺代表らの耳に老婦人のつぶやきがいっまでも残った。一九八九年十月、西三田団地で「第一回コスモスの家のつどい」を開き昨年五月、民家を借り「託老所」を開いた。

「コスモスの家」の運営は、訪れるお年寄りが一日、千円をケア、食事付き運営費として支払う。「老人福祉は無料」の考えからは冒險。お年寄りの世話には四、五十歳代のボランティア四、五人。料理講師や派遣看護婦も。内科医が万一の時は診察。気配りは充分過ぎるくらい。

同家を見て、老人が健康なまま余生を送れる施策の遅れを痛感する。収入は、趣旨賛同者十五人が月額一万円ずつ資金を提供、社会福祉協議会の援助金年額十万円など。家賃月額五万八千円の出費が重い。

渡辺代表は「同家は海に満（しずく）のような存在だが将来、多くの『家』を作り、「寝たきりゼロ」に貢献したい」と話す。同家の電話は

044-922-3037。

〔取材・松本成代〕

三石 巖著 文明の解体 現代書林

## 15年前に変革の鍵、予見

川崎市宮前区宮崎 ギフトショップ経営 青木悦子さん(55)

「文明の解体」を読んだのは十五年前です。私は当時、平凡な主婦で政治や地方自治には遠い存在でした。それが同書で、これまでの傍観者の生き方と訣別して、人生の指針と方向性を得た思いでした。

その頃はまだ、社会体制の優位性



小学校六年の時、昼休みの給食の後、担任教師が「次郎物語」を朗読してくれました。その直後、私の父親が病死し次郎の悲しみと自分の境遇とがオーバーラップしたのでしょいか、中学までに四、五回読んだと思います。

今、わが国は豊かになり、曲がりなりにも福祉社会になりました。それでも、一家の主を亡くせば精神的

現代書林

をめぐり、資本主義か社会主義かが論じられていました。同書は第二次

大戦後の文明はすべて人間社会に害毒を流し、解体されるべきだ。今後、世界を変革するのは市民運動だとし、東欧民主化の激動を先見していたような書物です。

著者は自然だけでなく人間、資本、科学技術は自己運動、自己増殖を続ける。その結果、資本主義体制では人間は資本、科学技術と結託してヒ

下村 湖人著 次郎物語

## 重なる自分の境遇

川崎市川崎区宮本町 稲毛神社宮司 市川緋佐磨さん(49)

苦痛だけでなく、経済的にも苦境に陥ります。ましてや福祉の概念すらない貧しい時代に父親を失うと、家族の生活はどん底になります。

次郎が苦勞しながら成長する過程に比べれば、私の苦勞など物の数にも入らないと思いますが、幼くして悲しみの人生を味わうことは、とても辛いことです。

次郎の父はお人好しでしたが、商

ロシマ、ナガサキの原爆の大殺戮(りく)をしたが、同大戦後もその自己運動の危険は続いているとしています。

一方、社会主義は、資本の非人間的抑圧からの解放や人民が政治、経済のイニシアチブを握り、絶えず権力をチェックし続けることが本来の理念だが、権力・官僚が自己運動し、民主主義や自由のない社会体制になった、と言います。

著者は、この自己運動をチェックコントロールするシステムをいかに構築するかに焦点を当て、その鍵を握っているのが市民・住民運動だと述べています。

著者は大脳生理学の権威です。その立場から住民感情を尊重しつつ、感情論だけの運動や物取り主義だけの市民運動を戒め、幅広い運動の展開には「脱対立の視点」が大事だと述べていますが、妥協論ではありません。

川崎市は革新市政が長く続き、市民運動の中に「革新だから」の遠慮が見られます。行政も細かく注文を出す市民団体を敬遠しがちです。自己運動を抑止される側として当然でしよう。同書は今読んでも、真に住民自治を創造する運動の視点について、豊富な示唆を与えてくれます。

させたのか、貧しさや辛かったことを思い出すのが嫌でそうしたのか、判然としません。

それでいて子供には「次郎物語」を読むよう勧めましたが、子供達は感動しなかつたようです。

昔の人は「若いときの苦勞は買ってでもしろ」と言います。人の苦しみが理解できるとか、精神的に強くなるとかの側面はあるでしょう。

しかし、私は次郎のような苦勞が無い人生の方がいいと思うし、自分の子供には苦勞をさせたくないと云うのが本音です。

## 生涯学習市民討議に300人

# 身近な施設作りと開放を……



▲生涯学習の豊富な経験に基づきいきいきと発言する市民。

川崎市教委、川崎の生涯学習を語る市民サロン共催の生涯学習市民討議「好奇心の夏、じぶん」発見——わたしたちの考える生涯学習」が七月十三日、中原市民館であり三百人が参加した。絶え間なく活動報告や問題提起が続き、その度に共感の拍手が起こり充実した集会だった。集会は▽立派な施設より身近な地域施設を▽学校を開放し地域の生涯学習の場に▽高齢化社会を生き生きと過ごすため、社会福祉と生涯学習の結合を——などが強調された。

いくつかの発言を紹介すると——「教育の社会化、地域の教育化に学校開放は不可欠。住民が話し合い、学び合う場は身近に必要。教室をオープン化してお年寄りの知恵を子供達の心に染み込ませることは出来ないか」(麻生区、元区民懇女性)「老人給食サービスを学校の家庭科教室を使い実施し食事の後、児童

がお年寄りに演奏と手紙を贈り交流している。お年寄りがそのお礼にぞうきんを縫い、学校にプレゼントした。学校開放は校長や教頭の理解で実現した」(幸区、民生委員)

「お寺や街歩き歴史を勉強したり、昔の料理を作って食べるなどの雑学サロンを月一回開いている。みんなが知恵を出し合い、希望に沿って勉強することで長続きしている」(川崎区、老人会長)

「私がかつては会社人間だった。現役を半歩離れた時、多様な生き方を生涯学習で知った。『おやじの会 いたか』は九年続いているが、何時でも、だれでも無料で使える溜まり場があったからだ。近くの子供文化センターが名称にこだわらず、大人に開放してくれた。早急に学校を開放して下さい」(多摩区、男性)「宮前市民館には市民が登録すれば二十四時間使える部屋がある。こ

れまでトラブルはなく、全区にこれを広げて欲しい」(宮前区、女性)

「生涯学習は市民一人一人が相談して作り、行政が援助することが基本だ。生涯学習の情報ネットワークをどう作るかは緊急の課題で、市民の日常的つながりや学習内容をより豊かにする」(川崎区、男性)

討論の後、藤岡貞彦・一橋大教授は「生涯学習を進展させるため、身近な施設や学校開放など条件整備の話が多く出され、市側と(今後)論争含みの発言が相次いだ。質量とも充実した討論会だったが、学校の先生が何人参加されていたか気になる。行政、教師の意識を変革させるのは市民であることを印象づけた。また、ネットワークなしに生涯学習の発展はないとの発言は新しい視点だし、社会教育と社会福祉の結合についての問題提起は意義深い。生涯学習カリキュラムを作るべきか否かは、きょうの討論では未解決。基本的には『個々人の希望に基づき作るべきだが、全く必要ないとは言えない。川崎市立大学を設置した場合、一定のカリキュラムは必要で、生涯学習についても議論が深まれば方向は出ると思う』と講評した。市教委では「討議の内容は市の生涯学習推進の計画づくりに反映させたい」としている。

国際政治セミナー「中東における民族・宗教問題」(全七回)が七、八月に当事業団で開かれた。湾岸戦争は米国の勝利で終結したが、日本人にとって中東は依然として遠い地域で、誤解や偏見も多くあり「国際社会の一員」として宿題を残したままだ。同セミナーは有意義で、奈良本英佑・法大助教『写真』の講義の一部をまとめ紹介する。

奈良本助教はまず、「中東は今日、世界の紛争多発地帯だが、歴史の特徴全体を捉えなければ理解できない」と述べ、中東と言う言葉自体が「英国から見た世界観を表している」と、暗にわが国の中東についての情報が欧米寄りなことが多いことを示唆した。

同助教は、歴史的發展を規定するのは地理・地勢、気候が大きいとし、同地域を①地中海とインド洋の二つの海を結ぶ地域②ユーラシア(アジアとヨーロッパ)大陸とアフリカ大陸の二つの大陸を結ぶ地域③木と水が極地的にしか無い乾燥した気候の地域——と特徴づけた。

このため、商業と遊牧が發展し、人とモノが動く外に開かれた都市的地域を早くから形成。都市は異質なモノと思想を絶えず受け入れる。

中東における  
民族・宗教

異文化統一の要  
イスラム

当時としては、最も世界・地球上の出来事を熟知できる地域で、住民は「国際的」に教育された。先住民と後から住んだ人との争いや侵略が勃発するが、比較的上手な喧嘩の収め方を知っていた。

同助教は、受講者に注意を喚起「中東が有史以来、常に流血の場であつたわけでは無い」と強調。「紛争地帯にしたのは欧米人であり米国人だ。インド洋、地中海の「関所」で国際貿易センターとしての中東を抑えることは、世界支配の戦略的要所を握り、世界制覇につながる。第

二次世界大戦後はこれに石油(の利権)が絡む」と力説した。

さらに、同助教はアラブの歴史家の「シリア、ここには国際ハイウェイが走っている」を引用、なぜ、かつての物流の中心地が今日、紛争多発地帯に変容したかについて問題を投げかけた。

同助教は民族問題に話を移した。世界的にみても、その地域の住民が固有の政府、国家を形成し民族の概念を持つのは二百年の歴史しかない。中東では百年の歴史もない、とした。自分がどの様な集団に帰属してい

るかを意識するのは宗教や部族による。民族意識は、近代社会が生み出した「政治」の産物と言える。

「アラブは一つであり、一つの国家でなければならぬ」などの思想は二十世紀からだ。最近、ユーゴスラビアで政治的独立を要求、民族紛争が起きているが、これは民族の概念が固定的でない事を示している。

中東が様々な異質のモノと人を受け入れる地理的条件にあり、異質な生活習慣、考え方(思想)を統一する大思想を人々は求めた。それがイスラム教の前身、ユダヤ教である。

セム一神教ユダヤ教は、遊牧民が紀元前千二百年頃から千年の放浪の歴史の中で形成された。その内容は①神は超自然的で唯一存在する②神が太陽、星、人間、草木など全てを創られた。神は創造者である③神は人間のように理性や意思、感性を持つ④神は普遍的に宇宙のどこにでも存在する⑤神の道德的律法は地球上の全ての人間に適用されなければならぬ。

また、ユダヤ教は神の律法を日常生活に細かく定め、律法の布教を義務付け、律法を守り広めれば神は救

済するとの「選民思想」を特徴とする。

この選民意識を批判、改革運動をして十字架に架けられ処刑されたのがイエスだ。キリスト教はローマ時代、奴隷の中で広まったが「予言者イエスの神格化は人間の神格化だ」と批判したのがイスラム教の予言者ムハマッド(マホメット)だ。

イスラム教は、一神教(ユダヤ教)の純粹性を復活、継承し同時に現実社会を改革し、イスラム教に基づく新しい国家を建設するという政治運動と結合して布教活動を進めた。したがって、近代社会の政教分離の原則を實現させることは難しい。



法大助教 奈良本英佑

中東の人々

の思想、行動の背景には、世界宗教の発祥の地で予言者ムハマッドがアラ(神)から受けたとされる啓示、戒律などが記されたコーラン(聖典)が生活に溶け込んでおり、「キリスト教を包み込み完成された宗教がイスラム教だ」との自負心がある。

イラクのサダム・フセイン大統領が引き起こした湾岸戦争を中東の多くの民衆が支持、激しく西側を非難した。それを政治や民主主義の後進性に求めるだけでは、国際政治に役立たない、と受講者は感じたようだ。

# ミニニュース

★ 身の上相談もする情報コーナー? 川崎区富士見の教育文化会館1階、当事業団「情報コーナー」は神奈川県内の学習情報をパソコンで検索、専門の相談員3人が学習相談に応じている。置いてある学習ビラやチラシ、冊子の種類も豊富で市民から便利と好評。最近、落ちこぼれ寸前?の高校生数人が立ち寄り、身の上相談。「学校の勉強は苦手だが何か資格を得たい」が相談の内容。相談員は「漠然と将来に不安を抱えている感じ」と親身になって話し合っている。

★ 人気のパソコン講座 6月に開いた実年、熟年を対象にしたワープロ・パソコン講座(定員各20人)。受講希望者は実年が2・7倍、熟年が1・5倍の人気。抽選に漏れた人の落胆の声に係は「申し訳ありません」。「実年」は急ぎよ追加講座を開き、これに受講できた人から「事業団は親切です」の声。

当事業団は、11月17日午後2時から事業団ホールで、講演会「ちびまるちゃん」とも像々現代のことと「ストレス」を開きます。講師はベストセラー「ちびまる子

ちゃんを話そう」の著者で、日本女子大教授の増淵宗一さん。参加費は無料ですが、申し込み方法については「市政だより」10月号に掲載します。

## まるちゃんを話そう

(11月17日 講演会)

「8ヶから16ヶになった「Stage Up」9月号。紙面を刷新しお届けします▼「市民がつくる市民が学ぶ 市民が拓(ひら)く——生涯学習」のお手伝い冊子に徹し、編集したつもりですがいかがでしょうか▼編集会議は議論が百出。「Stage Up」名は生涯学習情報誌と分からない。改名すべきだ「個々人の人生をステージに見立て、生涯学習で心豊かな人になる、との意味。ネーミングより内容が大事」▼インタビュ「いまを話す」の題名も当初は「教育放

## 編集後記

▼中東セミナー成功にホッ 7月13(8月3日)の全7回開いた国際政治セミナー「中東における民族・宗教問題」。係は「定員を大きく割らないか」と開講日までヤキモキ。資格取得や仕事、生活に関係する講座は人気が高いが、政治問題は実利を伴わない。「湾岸戦争も忘れられ

「談」と平凡でした▼「いまを話す」初のゲストを誰にするかでも激論。「教育問題は教育長まかせの首長が多い。高橋市長の本音を聴きたい」で合意▼インタビュ後の雑談で、市長が市の新施策をPR▼インタビュアーの太田さんが「市はPRがヘたですね」とズバリ▼「PRは本当に大事。川崎大師の初詣に三百万人以上が参拝するのも、普段PRの努力をしているから」と市長▼当事業団もPR不足を棚にあげ「発足間がないので」と責任を他に転嫁してはならない、と反省▼「Stage Up」を増刷、民間の協力を得て、市民が身近な場所ですりこぼれるよう

努力中▼同誌を金融機関、スーパー、デパート、百十店に置かせて頂くようお願いを郵送。切手を貼った返信用封筒を同封したが五割は「なしのつぶて」。モラルは問わないが、返信用切手代が惜しくなる▼インタビュ記事連載の話聞いた某日刊紙記者「あれは手間を食う。大変だぞ。続けられるのか」と心配顔▼初めて取材に出た植竹、松本は「緊張したのが楽しかった」▼次号から読者の意見、感想を掲載する「みんなの広場」欄を新設▼事業団への苦情や運営の在り方についてご教授を。みなさんのご協力で「Stage Up」を育てて下さい。

★ 頃だし!と心配したが、受講者の熱心にメモをとる意欲満々の姿にホッ。

★ 社費でボランティア 富士ゼロックスは、社員がボランティア活動のため休職(2年以内)する場合、その期間の賃金、賞与を援助金として支給する「ソーシャルサービス制度」を設けている。小林陽太郎社長の「企業人は良き市民たれ」の理念の具体化。各企業は21世紀に向け、ICを高めよう」と懸念だが、地域社

会での貢献度が企業、商品のイメージアップを決定しそうだ。

★ 市議、県議さんが激励 「Stage Up」が9月号から紙面を刷新することを知り、山田保・前市議会議長、青島章介県会議員、松沢成文県会議員が6月に当事業団を相次ぎ訪問。施設を視察し、編集チームに「全市をネットワークする情報や、読んで学習意欲が湧き、グループづくりを奨励する記事を」と激励した。

発行 千部 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル  
財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

編集・発行人 田中 啓

317のショップが集う、  
川崎ステーションビル 川崎BE

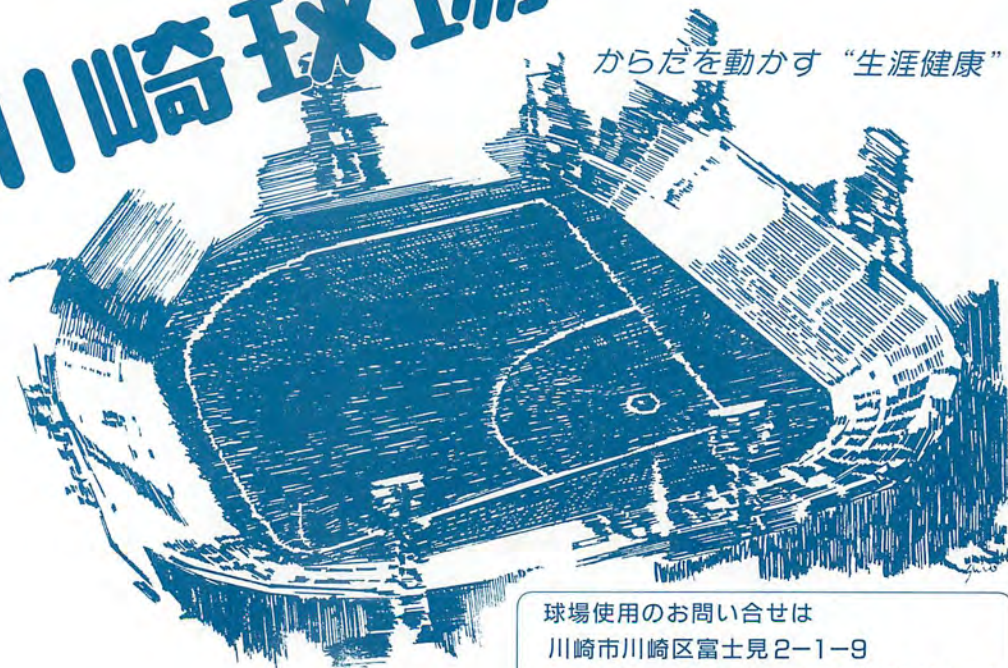
KAWASAKI

営業時間・AM10:00~PM 8:00  
地階飲食店・AM11:00~PM10:00  
1・3階飲食店・AM 7:00~PM10:00  
7・8階飲食店・AM11:00~PM10:00

BE  
KAWASAKI

川崎球場

からだを動かす“生涯健康”



球場使用のお問い合わせは  
川崎市川崎区富士見2-1-9  
☎ 044-244-2932 業務課(直通)